

今年は草がよく伸びると聞く。阿下喜小学校の運動場も例年になく草が多い。どうも阿下喜小だけではないとの声も聞く。何とかしなければならぬ▼事件は会議室で起きていないように、困った困ったと言っている草はなくなる。外掃除を担当する子どもが草取りをしてくれるが、ちょっとやさっとではなくなる。人界作戦しかない。「全校草取りをしよう！」と思っても時間がない▼掃除の時間に何とか工夫できないかな。各班2人ずつ草取りに派遣してもらおうか？でも、6年生は抜けられないよね。抜けられない担当場所もあるよね。4年生の担任が、開口一番「4年生にやらせてくれませんか。6年生は全校のリーダー、5年生は係の仕事、4年生にも何か全校の役に立つような仕事はないかな。そんなことを考えていました」▼今日、担任の先生が子どもに校庭の草取りについて提案してくれた。「よっしゃ〜！」子どもの目がきらり。子どもの心に火がついた。やる気満々。天候に左右されなければ、運動会までに掃除は6回ある。明日の掃除の時間から総勢35人ほどで校庭の草と戦う。これも運動会。▼5時間目には、5、6年生が色別集まって、縦割り班競技の練習やエールの相談をしていた。これも運動会。相田みつを先生のこんな言葉を思い出した「土の中の水道管 高いビルの下の下水 大事なものは表に出ない。」